

## 第5グループ

## 令和 1年度 第2回 議事録

【年間テーマ スピーチロックについて ～ユマニチュードを使用して～】

令和 1年 8月 22日提出

日付	令和 1年 8月 10日 (土)			
場所	TKP博多駅筑紫口ビジネスセンター		記録者名： 宮崎 紫織	
出席者 (敬称略)	東福岡和仁会病院 伊東 真由美	福岡和仁会病院 樋口 栄治郎	松尾内科病院 田中 雅人	北九州湯川病院 新谷 明子
	福岡みらい病院 藤松 宇子	福岡輝栄会病院 田中 歩	福岡輝栄会病院 菊地 茉里奈	香椎原病院 宮崎 紫織
テーマ	年間テーマについて話し合う			
結論	現場の状況を振り返れば、乱暴な声かけは行わずとも、(優しい口調等で)スピーチロックをしている現状がある。今回、ユマニチュードについての研修を受け、学んだユマニチュードの技術を実践しながら、現場でのスピーチロックを減らすことを目的に取り組みを行う。			
決定事項	次回の研修までに、各々の病院で対象の患者(利用者)に、ユマニチュードの技術を実践し、患者(利用者)の行動や言動、表情の変化や反応を観察する。また、職員へユマニチュードについての説明を行い、協力を仰ぐ。職員のユマニチュードについての反応や実践してみた際の反応、職員の対応の変化等も観察を行う。			
備考	8月の定例会 Q&Aについて ① 実施している抑制について、月に1回カンファレンスを実施し、見直しを行っている。 病院によっては、安全対策のため、1週間に1回カンファレンスを実施している病院もある。 抑制の必要性や不必要性を記録に残すことで、次のカンファレンスに繋げている現状がある。			
次回討論項目	各々の病院で取り組んだ事例を持ち寄り、現場でのスピーチロックについて考える。			

抑制廃止とケアの質を高める会 事務局

E-メールアドレス info@famcf.jp (FAX.092-691-3961)